

## 参考文献

- 赤塚紀子・坪本篤朗(1998)『日英語比較選書3 モダリティと発話行為』研究社出版
- 網浜信乃(1990)「条件節と理由節—ナラとカラの対比を中心に—」『待兼山論叢 日本学篇』24
- 有田節子(1993)「日本語条件文研究の変遷」『日本語の条件表現』くろしお出版
- 安善柱(1997a)「「ても文」に関する一考察」『日語日文学』8 (大韓日語日文学会)
- (1997b)「逆接条件文に関する一考察」『筑波応用言語学研究』4
- (1999)「順接確定条件の論理構造」『日本語と日本文学』29
- 伊藤勲(1987)「「ても」の用法」『国際学友会日本語学校紀要』12
- 江口巧(1991)「条件文と理由文の交替について」『言語科学』26
- 奥田靖雄(1988)「文の意味的なタイプ」『教育国語』92
- 上林洋二(1984)「理由を表わす接続詞」『自然言語処理のための言語学に関する研究』  
東京理科大学理工学部
- (1989)「理由を表わす接続詞再考」『文芸言語研究 言語篇』16
- 草薙裕(1977)「自然言語における条件の論理構造」『計量国語学』11-3
- (1983)『コンピュータ言語学入門』大修館書店
- (1985)「1 文法形式が担う意味」『朝倉日本語新講座4 文法と意味II』朝倉書店
- 言語学研究会・構文論グループ(1985a)「条件づけを表現するつきそい・あわせ文(1)—その1・まえがき—」『教育国語』81
- (1985b)「条件づけを表現するつきそい・あわせ文(2)—その2・原因的なつきそい・あわせ文—」『教育国語』82

- (1985c)「条件づけを表現するつきそい・あわせ文(3)―その3・条件的なつきそい・あわせ文―」『教育国語』83
- (1986)「条件づけを表現するつきそい・あわせ文(4)―その4・うらめ的なつきそい・あわせ文―」『教育国語』84
- 小泉保(1987)「譲歩文について」『言語研究』91
- 小林賢次(1996)『日本語条件表現史の研究』ひつじ書房
- 近藤洋逸・好並英司(1979)『論理学入門』岩波全書
- 才田いずみ(1980)「「のに」と「ても」」『アメリカ・カナダ十一大学連合日本研究センター紀要』3
- 阪倉篤義(1975)「第四節 条件表現の変遷」『文章と表現』角川書店
- 坂原茂(1985)『日常言語の推論』東京大学出版会
- (1990)「談話研究の現在と将来」『言語』19-4
- (1993)「条件文の語用論」『日本語の条件表現』くろしお出版
- 白川博之(1995)「理由を表わさない「カラ」」『複文の研究(上)』くろしお出版
- 杉原丈夫(1974)『時間の論理』早稲田大学出版部
- 鈴木義和(1992)「提題のナラとその周辺」『園田学園女子大学論文集』26
- 田窪行則(1987)「統語構造と文脈情報」『日本語学』6-5
- (1993)「談話管理理論から見た日本語の反事実条件文」『日本語の条件表現』くろしお出版
- 田中寛(1989)「逆接の条件文<ても>をめぐって」『日本語教育』67
- (1994)「条件表現と基本文型」『日本語学』13-8
- 田野村忠温(1991)「「も」の一用法についての覚書―「君もしつこいな」という言い方の位置付け―」『日本語学』10
- 寺村秀夫(1981)『日本語教育指導参考書5 日本語の文法(下)』国立国語研究所
- 戸村佳代(1988)「日本語における二つのタイプの譲歩文―「ノニ」と「テモ」―」

- 豊田豊子(1977)「『と』と『～とき(時)』」『日本語教育』33
- (1978)「接続助詞『と』の用法と機能(I)」『日本語学校論集』5
- (1979a)「接続助詞『と』の用法と機能(II)」『日本語教育』36
- (1979b)「接続助詞『と』の用法と機能(III)」『日本語学校論集』6
- (1982)「接続助詞『と』の用法と機能(IV)」『日本語学校論集』9
- (1983)「接続助詞『と』の用法と機能(V)」『日本語学校論集』10
- 西原鈴子(1985)「逆接的表現における三つのパターン」『日本語教育』56
- 仁田義雄(1987)「条件づけとその周辺」『日本語学』6-9
- 沼田善子(1986a)『いわゆる日本語助詞の研究』凡人社
- (1986b)「副詞句のとりたて—「と」「ば」「たら」「なら」と「も」—」  
『都大論究』23
- (1992)『日本語文法セルフ・マスターシリーズ5 「も」「だけ」「さえ」な  
ど—とりたて—』くろしお出版
- 蓮沼昭子(1987)「条件文における日常的推論」『国語学』150
- (1993)「「たら」と「と」の事実的用法をめぐって」『日本語の条件表現』く  
ろしお出版
- 前田直子(1991)「『論理文』の体系性—条件文・理由文・逆条件文をめぐって—」『日  
本学報』10
- (1993)「逆接条件文「～テモ」をめぐって」『日本語の条件表現』くろしお出  
版
- 益岡隆志・田窪行則(1992)『基礎日本語文法—改訂版—』くろしお出版
- 松下大三郎(1930)『改撰標準日本文法』中文館書店
- 南不二男(1974)『日本語の構造』大修館書店
- 山田孝雄(1936)『日本文法学概論』宝文館

日本語教育学会編(1982)『日本語教育事典』大修館書店

Akatsuka, Noriko (1983) "Conditionals", *Papers in Japanese Linguistics*, 9.

————— (1985) "Conditionals and epistemic scale", *Language* 61.

Alfonso, Anthony (1966) *Japanese Language Patterns: A Structural Approach*, 2,  
Tokyo: Sophia University Press.

Austin, J. L. (1956) *Ifs and cans*. *Proceedings of British Academy*.

Bochenski, J. M. (1968) *Ancient Formal Logic*. North-Holland

Jens Allwood; Lars-Gunnar Andersson; Osten Dahl (1977) *Logic in Linguistics*,

Cambridge University Press. [公平珠躬、野家啓一訳(1979)『日常言語の論  
理学』産業図書]